

建築協定だより

第 22 号 1995年3月
 編集・発行 横浜市建築協定連絡協議会
 横浜市中区港町 1-1
 横浜市建築局企画指導課内
 電話 045 (671) 2932・2933

あなたの家は大丈夫ですか？

木造家屋の耐震診断の相談について

《簡単な相談をしたいとき》

各区役所	建築課	お家で簡単にできる耐震診断表をお配りしています。
	建築相談 (毎月2回 開催)	一般の建築相談の中で木造の耐震についてもお答えします。 開催日時 毎月第1・第3金曜日 午後1時から4時まで 場所 区政推進課広報相談係

《詳しく診断してほしいとき》

有料となりますが、下記の各機関で受け付けております。

機関の名称	相談内容等	連絡先
横浜建築事務所協会 技術部会	木造住宅の耐震判断を行う。 設計事務所を紹介する。 費用は物件毎に見積する。	〒231 横浜市中区尾上町 4-47 大和銀行ビル 3階 ☎045-662-1337
(社)日本建築大工技 能士会 技術研究委員会	マイホーム点検 費用は面積に応じて決まる。 補強の相談も行う。	〒220 横浜市西区西戸都町 3-283 ☎045-231-7906

《木造以外の建築物で相談したいとき》

◆神奈川県建築士事務所協会 耐震診断判定委員会◆

木造住宅等は取り扱わない。費用は物件毎に見積する。
〒230横浜市中区尾上町 5-80神奈川県中小企業センター
☎045-633-5124

◆(財)日本建築防災協会◆

大規模又は高度な判断を要するものを判定、又は診断する。
〒107東京都港区赤坂 1-9-2山崎ビル
☎03-3586-2881

◆建築研究振興協会◆

規模等については制限なし、ただし訴訟に関わる物件は対象としない。
費用は物件毎に見積する。
〒108東京都港区芝 5丁目 26-20建築会館 5階
☎03-3453-1281

※工業化住宅(工場生産により規格化された住宅)については、各住宅メーカーに
問い合わせるとよいと思います。



去る1月17日に起きた阪神・淡路大震災は改めて自然の驚異を教えるものとなりました。

連日被災地の状況がニュースなどで伝えられています。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興がなされますことをお祈りしたいと思います。

ところで、大地震などの自然災害、それに伴う二次災害は、私たちの身の上にもいつ起こるか分からない問題です。建築協定と地震とは直接的な関係はありませんが、市内の建築協定地区の大部分が、木造戸建て住宅地であり、そういった地区の防災対策のありかたについて、今回の阪神・淡路大震災から学ばなければならないことも多くあります。

一方で、ご自分の家が地震に対して安全かどうか確かめたい、きちんとした安全対策を施したいと思っただけで、その方法が分からないという方もいらっしゃると思います。そういった方のため、専門家による耐震相談の窓口を掲載しました。また、一般の木造住宅での耐震について、自分で簡単に判定できるチェックシートを横浜市でつくっています。こちらは広報よこはま4月号に掲載致しますので、ご利用ください。

安全な街に安心して住めるということは、住環境が良好だと感じさせてくれる大事な要素です。これを機会に、ご家庭での地震対策、防災対策を考えてみましょう。

総会でも地震関連の催しを

毎年恒例の総会でも地震に関連した講演などを予定しております。ご案内の記事は3面に掲載しておりますのでご覧ください

耐震建築相談会開かれる

地震に関連した催しも行われています。各区役所では平成7年2月13日から3月10日の期間に、住宅の耐震建築相談会と、神戸市の地震による被害状況を伝える写真展示が行われました。先の阪神・淡路大震災以降、地震が起こったとき自分の住む家がどうなるのか、という不安を持たれた市民の方に対し、建築の専門家が質問疑問にお答えしました。市外からいらっしやる方、自分の家の図面持参で構造等について質問される方、家具の留め金など身の周りの工夫について尋ねられる方など、多数の方が利用されていました。建築年数と耐震の関係や、屋根瓦の重さの問題など、住宅に関して具体的な質問も多く、利用者の方は相談員の言葉に熱心に耳を傾けられていて、この問題に関する関心の高さがうかがえました。

パネル展示では、応急危険度判定士の見た阪神大震災ということで、被害を受けた建物の写真パネルが30枚程度展示され、やはり多くの方が足を止めご覧になっていました。



▲阪神・淡路大震災での被害状況を伝えたパネル展示
 ▲相談会ではたくさんの疑問が寄せられました。

栄区役所建築課及び栄区建築協定地区連絡会の共催により 栄区まちづくりフォーラム開催される

平成7年1月22日、昨年に引き続き栄区まちづくりフォーラムが、栄区役所建築課及び栄区建築協定地区連絡会の共催により開催されました。寒さが厳しい折り、雨も降る中を、建築協定関係者など約70人が栄公会堂に集まり、良好な住宅地の環境のあり方について、熱心に議論を交わしました。

まず、栄区総務部長から開会の挨拶と趣旨説明があり、その後、(株)日本設計の顧問の池田武邦氏による基調講演、引き続き、建築の専門家や建築協定地区代表者によりパネルディスカッションが行われました。また、当日配布の資料では、本郷台自治会、飯島ひかりが丘自治会を対象にした住環境意識アンケートの調査結果が報告されました。

池田氏からは、ご自身が超高層ビルや長崎のハウステンボスの設計を行ったときの体験を踏まえながら、自然との係わり方について貴重なお話を伺いました。また、パネルディスカッションでは、パネラーの方から事例の紹介やまちづくりに対する種々の提案にもとづいて、会場の方々も交えながら、良好な住宅地の環境づくりについて、活発な議論が行われました。



栄区建築協定地区連絡会は、栄区内の建築協定地区の連絡交流の場を設けることで協定の円滑な運営を図ることを目的として、平成5年9月に発足しました。連絡会の活動としては、年に4回程度の会合を開き、意見交換や勉強会を開いたり、フォーラムの開催も行っています。

基調講演

池田氏は、戦後の経済復興期に建築に携われ、特に霞ヶ関ビルを初めとする超高層ビルに取り組んで来られました。そうした中で、自然とのかかわりの大切さを実感され、現代社会において、近代技術などの文明の必要性の中にも、歴史と風土に根付いた文化や自然が大切であることを、さまざまな具体的な例や、最近手掛けられた長崎のハウステンボスのスライドなどにより、わかりやすく説明していただきました。そして、今後のまちづくりを進めていく中でも、このような視点に立って考えていく必要があることをお話しいただきました。

最後に、文化と文明を、糸の先に付けた分銅を振り回す状態に例えられ、文化という求心力によって、文明の分銅が外に飛び出さないようにしなければならない。そして、日本の素晴らしい文化をもう一度振りおこして、自分たちのまちづくりにどういうふうに活かすかを考えて欲しいと結ばれておりました。

フォーラム参加者の方々も、池田氏ご自身の体験に基づいた貴重なお話を、心洗われる思いで聞かれたのではないかと思います。

パネルディスカッション

古村伸子氏のコーディネーターのもとで、5人のパネラーが、快適な住宅地の環境づくりについて、数々の議論をしました。

まず、お二人のパネラーに、専門家の立場から住宅地のまちづくりについてご発言をいただきました。千賀義二氏からは、個々の家が町並みをつくっていることを認識し、規制緩和(容積率緩和)に躍らされず、今のよい環境を保ってほしいといったお話がありました。

元塚隆文氏からは、栄区では緑の環境づくりを進めているが、緑の多い所はすばらしい。皆でやれば全体がよくなっていくといったお話がありました。

また、建築協定を運営するなどして、実際に住宅地のまちづくりに取り組まれている地域の代表者のお二人から、日頃の活動の中で感じていることを述べていただきました。

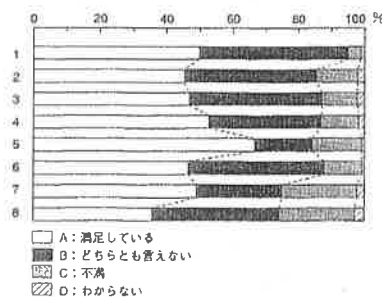
その後、パネラーの方々の発言の内容をもとにして、一般参加者も交えて住宅地の良好なまちづくりについて活発な議論を行いました。

住環境意識アンケート

本郷台自治会、飯島ひかりが丘自治会の住民394名を対象に、住宅地の環境について、どのような感想を持ち、身近な環境づくりについてどのように取り組んでいるかを調べたものです。

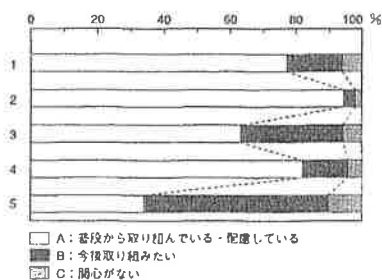
設問1 現在お住まいの住宅地の環境について満足していますか。

- 1 街並みの美しさ
- 2 散歩・散策の場所
- 3 自然との触れ合い
- 4 緑の豊かさ
- 5 日当たり
- 6 街の清潔さ
- 7 街の静けさ
- 8 歩行者の安全



設問2 身近な環境づくりに取り組んでいますか。

- 1 生け垣や植栽を行い歩道(道路)に面する緑を増やす。
- 2 騒音(自動車・カラオケ・ピアノ・ペット)などで近所の迷惑にならないように配慮している。
- 3 周辺の環境に配慮して住宅の計画を行う。
- 4 地域の人が集まって公園や歩道の掃除を行う。
- 5 身近な街づくりについて自治会などで話し合う。



コーディネーター 古村伸子 (まちづくりコンサルタント)
 パネラー 千賀義二 (千賀建築設計事務所, 横浜市建築カウンセラー)
 元塚隆文 ((有)元塚設計, 横浜市建築カウンセラー)
 田島義之 (栄区建築協定地区連絡会代表, 湘南桂台運営委員会会長)
 仲摩浩二 (栄区建築協定地区連絡会委員, 本郷台自治会長)
 上野信行 (栄区建築課長) (敬称略)

詳しくは、後日栄区役所から出される記録集をご覧ください。

第12回横浜市建築協定連絡協議会総会のご案内

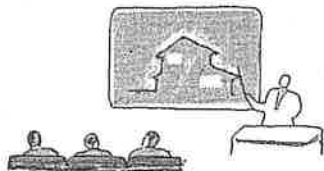
毎年恒例となりました総会を下記のとおり開催致します。他地区の方との交流、情報交換のよい機会ですのでぜひご参加ください。

◆日時 平成7年6月10日(土)

◆場所 ジャストホール(横浜駅東口)

詳しいご案内は後日運営委員長さんまで郵送いたします。

総会では、第1回からまちづくりに関する講演会を同時開催し、毎年ご好評を得て来ましたが、今回は、住宅地と地震をテーマに専門家のお話を伺うことを予定しております。各家庭でできること、建築協定でできることといった観点から地震について考えられる機会としたいと思います。



第 6 回建築協定バス見学会開催される

今年度の活動方針の1つである第6回バス見学会が平成6年11月12日開催されました。当日は横浜市内の建築協定地区から22名の方が参加され、恵まれたお天気のもと、港北区、都筑区方面をまわりました。

今回のバス見学会は、住宅地系の建築協定地区から目先を変えて商業系のまちづくりをすすめている大倉山商店街エルム通りと、自主的なまちづくり協定の例である港北ニュータウン中川駅前街づくり協定地区を見学しました。現地を歩いて見てまわるほか、講演やビデオ説明を交えながらコースを回りました。

日ごろ交流の機会が少ない他地区の方が参加したということ、お互いの地区の現状等を尋ねあうなど、建築協定に関する情報の交換が行われる場が見られました。



大倉山エルム通り

昭和30年代、歩道がなく駅まで300～400m続く車の渋滞をぬって人が歩く状態だったこの通りも、今では沿線店舗のセットバックにより、歩道が確保され安心して歩けるようになりました。凹凸の少ないみかげ石の路面は女性のハイヒールでも歩きやすくなっています。

また、街並の統一をはかり、周辺で生活する人に親しんでもらうため、地域のシンボルである大倉山記念館のギリシャ風を用いることとしました。

ギリシャ風のほかにも、バラベットの高さの統一、色調をオフホワイトにそろえること、3階部分のセットバックなどのルールにより、統一感のある歩きやすい整備された街並ができました。



お知らせ

運営委員長が変わったらお知らせください

地元の運営委員会と横浜市との結びつきは建築協定を運営していくうえで大切なものです。「建築協定だより」の配布も情報交流のために必要です。運営委員長、及び建築協定だより配布先が変更になったときは、必要事項を記入した「建築協定運営委員会の手引」にある届け出様式、お持ちでない方は「建築協定名、新旧の運営委員長等の氏名、住所、電話番号」を記入した用紙を、建築局企画指導課までお送りください。また建築協定だよりの配布数の変更がある場合もご連絡ください。

横浜市まちづくりコンサルタント制度のご案内

この制度は地域のまちづくり、魅力づくりを進めるための皆さんの自主的な活動に対して専門家がアドバイスをし、まちづくりのお手伝いをするものです。ご要望のありました地区にまちづくりの経験、知識豊かなコンサルタントを市が派遣致します。昭和59年よりスタートしましたこの制度も第6期目を迎え、コンサルタントも新規メンバーを加え一層の充実を図っていこうと考えております。建築協定をこれから結ぼうとされる地区だけでなく、更新を迎え内容の見直しを行いたい地区にも派遣を行っていますのでご利用ください。

第6期横浜市建築協定連絡協議会幹事一覧

会長	竹内良夫	青葉区桜台住宅地
副会長	佐藤鉄雄	都筑区牛久保地区
幹事	鈴木 稔	金沢区西武金沢文庫
幹事	大上秀雄	青葉区すすき野地区
幹事	川松康作	中区新本牧地区
幹事	北川隆三	港北区岸根篠原東急団地
幹事	森本周造	青葉区美しが丘自治会
幹事	小澤功治	港南区港南第2期(日原山二丁目)
幹事	田島義之	栄区第2次湘南桂台地区

この「建築協定だより」についてのご質問・ご意見については
〒231横浜市港北区港町1-1 ☎671-2932・2933
事務局 横浜市建築局企画指導課 までお寄せください。

協定クイズ

【問題】

(1) から (5) までの各区の花を (A) から (E) の中から選んでください。(ヒントを参考にしてね。)

正解者の中から抽選で20名の方に、すてきな賞品を差し上げます。はかきの問題の答えと、住所、氏名、建築協定地区にお住まいの方はその建築協定地区名、電話番号、また建築協定だよりの感想ご意見をご記入の上、下記の宛て先まで奮ってご応募ください。締め切りは4月30日です。

宛て先：〒231 横浜市中区港町1-1
横浜市役所建築局企画指導課
建築協定だより担当

??

- ① 栄区 皇室の紋章にもなっています。
- ② 港南区 太陽が一番似合います。
- ③ 港北区 ○○にうぐいす
- ④ 旭区 夏の早起きさん
- ⑤ 磯子区 原産地はメキシコです。

